

別表2

2. 社会と文化の歴史と現在(10単位)

(1)プログラムの目的

私どもをとりまく社会と文化に対する学問的で多角的なまなざしを学ぶことを目的としている。受講生は、歴史学、考古学、社会学、地理学、文化人類学、アーカイブズ学を専門とする担当教員の多様な講義を通して、社会と文化に対する学問的なまなざしや思考法を学ぶことができる。それを通して山積するグローバルかつローカルな社会問題に取り組み、その解決の糸口に向けての考え方を身につけることができる。

(2)プログラムの学修到達目標

- ①人間と社会に関わる諸問題について、人文・社会諸科学の研究方法に基づいて、論理的に考察することができる。
- ②自らの考えを、文章や口頭で論理的・効果的に表現することができる。
- ③現代社会で生起する諸問題に対し、グローバルかつローカルな視点から意識的に取り組むことができる。
- ④現代社会の課題を発見・探求し、人文・社会科学的な学修成果・研究成果を活かしつつ解決にあたることができる。
- ⑤人文・社会科学に関する高度な専門性を有し、実証的データに基づく思考力を活かして新たな価値の創造に向かうことができる。

(3)履修資格

令和6年度以降に入学した者
法文学部社会文化学科の学生は本プログラムを履修することができない。

(4)履修手続

本プログラムを履修する者(以下、「履修者」という。)は、次の各号の申請・提出により、履修手続きをしなければならない。
一 本プログラムの履修申請
二 その他本学が必要と認める書類

(5)修了要件

次の要件を全て満たすこと。
一 所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。
二 下記履修表により履修し、計10単位以上を修得すること。

(6)履修証明書交付要件

次の要件を全て満たすこと。
一 3年次以上の学生であること。
二 選択科目を10単位修得済み、または履修中であること。

(7)構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。

履修表(令和6年度以降入学生用)

科目区分	授業科目名	単位数	必修	選択
専門教育科目	社会学概論II	2	/	10
	現代史概説	2		
	考古学概論I	2		
	社会学史	2		
	地誌学I	2		
	経済地理学	2		
	文化人類学入門	2		
	日本史概説B	2		
	東洋史概説A	2		
	東洋史概説B	2		
	西洋史概説A	2		
	考古学概論II	2		
	アーカイブズ学概論	2		
	地域資料総合演習	2		
	合 計			